

京 都 府

京都府連合退職校園長会

結成 昭和41年5月22日

1 沿革

昭和41年幾多の苦難を経て京都府連合退職校園長会が発足した。平成16年度末までは、13地域退職校園長会の連合体であったが、不本意な脱退騒ぎがあり7地域に再編成し、現在会員数1,572名の組織である。(脱退者が「京都府退職校園長会」を組織し今も存在)

各地域は、地域の実態や特徴を生かし、組織の充実と魅力ある事業の推進を目指して企画運営をしている。

2 組織の充実を目指して

(1) 本会の特色

京都府連合退職校園長会(府連退)は、一つになることを目指している。地域にはさらに支部があり、きめ細かく地域の活動に関わっている。各地域の退職校園長会は、本会の支部ではなく、それぞれ独立した会であり、幼・小・中・高・特支の会員で構成されている。

(2) 総会開催地

地域退職校園長会の活動を積極的に進め、組織の活性化や充実を図るため、総会開催地のローテーション(京都府を北・中・南に分ける。)を決めて開催している。

(3) 若い会員・女性会員を組織に勧誘

近年、若い会員は、退職後も仕事に就く事が多いので、本会に入会しやすいように日頃の繋がりを大切に、交流懇親会や学校・園、地域教育活動に取り組んでいる。若手会員と一層の女性会員の参画とその力量を得ていく運営がなされる必要がある。



二条城

3 魅力ある事業の推進

各地域・支部活動の充実

地域会長や支部長を中心に、各地域で素晴らしい事業が行われるようになってきた。そうした活動の状況を府連退全体の中で交流しているが、各地域・支部の活性化と組織の充実に繋がっている。活動には、楽しいという要素が必要である。常に会員の状況を考え、高齢化にあわせると共に若手にも楽しい事業計画を工夫して立てている。